

## 3. 「子育てするなら富田林」を一層推進

(3) コロナ禍における市立小中学校の学習環境の改善について

①空調効率を改善する設備（遮熱フィルムや断熱効果のある塗料など）の導入について

②熱中症対策としてウォータークーラーの導入について

**【答弁】**

それでは、3. 「子育てするなら富田林」を一層推進 の (3) コロナ禍における市立小中学校の学習環境の改善について の①②につきまして、順次お答えいたします。

はじめに、①についてお答えいたします。

本市では、快適な学習環境の確保のため、普通教室へのエアコン設置を完了しましたが、今般のコロナ禍においては、文部科学省からの指導により、学校では可能な限り常時換気に努めており、空調効率が著しく低下しているものと思われま

す。このような状況のもとでは、学校施設の窓ガラスへ遮熱フィルムを設置することで、紫外線を大幅にカットすることや、夏場の室温上昇を緩和するなど、エアコンの効率的な運用に寄与することはもとより、災害時の窓ガラスの飛散防止対策にもつながるものと考えます。

しかしながら、学校施設においては窓ガラスの枚数も多く、フィルム購入や設置作業等に伴う費用面の課題がございます。また、学校施設の老朽化が進む中では、校舎の大規模改修等も含めて検討していく必要もございますことから、今後とも、遮熱フィルムの設置や複層ガラスへの交換等も含め、費用対効果など総合的に判断し、引き続き、調査・研究してまいります。

また、校舎屋根外壁面への断熱効果のある塗料の塗布につきましては、校舎が鉄筋コンクリート造であり、塗料による断熱につきましては、現状では大きな効果は期待できないものと考えますが、材料・工法などについて調査・研究してまいります。

次に、②「熱中症対策としてウォータークーラーの導入について」お答えいたします。

コロナ禍において、常時マスクをつけている学校生活においては、熱中症の予防対策として、常時、適温の飲料水が飲める、ウォータークーラーの導入は、効果的な手段の一つであると考えられます。

ウォータークーラーの導入につきましては、車いすの児童生徒など誰でも安心して水分補給でき、コロナ禍における感染症対策の観点も踏まえた機種選定、使用方法も含めた維持管理について慎重に議論することが必要と考えます。また、給水設備を受水槽方式から直圧式にする大掛かりな工事が必要であり設置費用等の課題もあることから、近隣市町村の導入状況も調査し、引き続き調査・研究してまいります。

以上で、お答えとさせていただきます。